

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月27日(日)14:00～15:55

会場

雄勝総合支所仮設庁舎 2階 会議室

参加者数

約120名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
高台移転について、住民の合意形成をどう考えるか。	防災集団移転促進事業は民の方々を安全な高台に移転しようとする事業で、要件には、防災移転促進事業計画に移転促進区域を定めること、災害危険区域として建設制限を課すことがある。建築制限では、前に住んでいた所が、居住不可・店舗や作業所等は建設可になるものだが、合意形成後にかけるので、行政が先行して制限をかけることはない。地域の皆様の考え方によるが、早くこの事業を展開するのがこの地域にとって大事だと思う。
建築制限の目安は浸水何mの区域か。	防災集団移転促進事業となったときに建築制限をかけるが、それ以外の規制はない。
土地を買取る場合の価格は。	価格は、国の方針が出てから、不動産鑑定を行って決めていきたい。
雄勝は雨量の多い地区で土砂災害の危険があるが、対策は。	排水対策等の基盤整備も検討していく。
雄勝地区(中心部)は、広いので、建設制限をかけても全部が高台に移れるほどの土地はない。今の土地を活用するために、高台移転の費用を防潮堤の費用に充ててほしい。	防潮堤はTP9.7mを考えているが、それでも今回のような規模の津波は防潮堤を越えてしまう。今回のような規模の津波から、守るために、防災集団移転事業による高台移転を考えているが、どうしても今までと同じ場所に住みたいという意見が多いのであれば、しっかり検討していきたい。住民の方々が望む方向で進めていく必要がある。
高い防潮堤は眺望が悪くなり、観光にも良くないという意見もあるが、不安な生活には耐えられないので防潮堤は少し高くし、引き波にも強い、高い道路を兼ねた幅の広く、頑丈な防潮堤を造ってほしい。	国では、ねばり強い防潮堤を造るという構想である。防潮堤の幅を広げ、災害に強い防潮堤を考えている。

質問・意見	回答
釜・大街道地区は住居を建てられるのに、なぜ雄勝は建てられないのか。	釜・大街道地区は海岸防潮堤 TP 7.2 m と高盛土道路 TP 5.0 m による多重の防御により、今回のような規模の津波を防ぐ。雄勝地区は防潮堤の裏に高盛土道路を造るまでの敷地がないので高台移転を考えている。

【要望】

- 市各部落に避難道路とその高台に避難場所を一つ造ってほしい。
- チリ津波程度であれば避難訓練さえきちんとしていれば助かる。今回も逃げることが出来たので、防災教育をしっかりとしてほしい。
- 高台移転だけでなく、土地を 2～3 m 嵩上げし、道路も 3～5 m 高くして、防潮堤を造ってほしい。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
各地区の宅地の造成戸数や公営住宅戸数は。	高台に移転し自宅を建設するのか、災害公営住宅に入居するのか、住民の意向により戸数を決定したい。